

四半期運用レポート

2018年4月～2018年6月

目次	ページ
1 特別勘定の種類と運用方針	2
2 運用環境	3
3 特別勘定の運用状況	4
4 ≪参考情報≫ 投資信託の運用状況	5～13
5 リスクおよび諸費用	14～15

利用する投資信託の委託会社のご紹介

アライアンス・バーンスタイン株式会社

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。グローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、株式、債券、マルチアセット、オルタナティブ運用など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。



ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、ステート・ストリート・グループの資産運用部門であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート・グループは1792年に米国ボストンで設立されたステート・ストリート銀行を中核としており、同行は世界最大級の預かり資産とネットワークを有するカストディ銀行として、卓越した財務内容と高い信用力を誇ります。SSGAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

ブラックロック・ジャパン株式会社

BLACKROCK®

ブラックロックは、1988年の設立後、グローバルに資産運用、リスク・マネジメント、アドバイザー・サービスを提供している世界有数の資産運用会社です。2017年12月31日現在、運用資産残高はグループ全体で総額6.28兆米ドル(約708兆円)にのぼります。ブラックロックの使命は、お客様のより良い将来に向けた経済的基盤を創造することです。お客様の資金を預かり運用するフィデューシャリーとして、お客様の目標実現に必要な運用およびテクノロジー・ソリューションを提供しています。ニューヨークを本拠として北米、南米、欧州、アジア、オーストラリア、中東、アフリカ等、世界30カ国以上の拠点と従業員約13,000名で事業を展開しています。

キャピタル・インターナショナル株式会社



キャピタル・インターナショナル株式会社は、米国ロサンゼルスに本拠を置くキャピタル・グループの日本法人です。1986年に設立され、個人や年金などのお客様に、長期的視点に立ったアクティブ運用商品を提供しています。キャピタル・グループは1931年の創業以来、資産運用を唯一の事業として、業容を拡大してきました。1950年代から国際分散投資を開始、60年代にグローバル株式指数を開発するなど、グローバル株式投資の第一人者としての経験と実績を有しています。グローバルな調査体制、再現性の高い運用プロセスを通じ、長期的に優れた運用成果の実現を目指します。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託		参照ページ
			投資信託名	委託会社	
安定成長 バランス型	日本 株式 20%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式20%、 外国株式20%、日本債券30%、 外国債券30%とし、一定の規律に 従いリバランス ^{*1} を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレ ンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	7
	外国 株式 20%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	8
	日本 債券 30%		日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (上段)
	外国 債券 30%		外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (下段)
積極運用 バランス型	日本 株式 25%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式25%、 外国株式35%、日本債券20%、 外国債券20%とし、一定の規律に 従いリバランス ^{*1} を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレ ンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	7
	外国 株式 35%		アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	8
	日本 債券 20%		日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (上段)
	外国 債券 20%		外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ 株式会社	5 (下段)
特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		参照ページ	
		投資信託名	委託会社		
日本株式型	日本 株式 100%	JDFインデックス・ファンド国内株式F (適格機関投資家私募)	ブラックロック・ジャパン株式会社	6	
日本株式 プラス型	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレ ンド・ファンド-2	アライアンス・バーンスタイン株式会社	7	
外国株式 プラス型	外国 株式 100%	アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社	8	
世界株式 プラス型	世界 株式 100%	キャピタル世界株式ファンドVA (適格機関投資家私募)	キャピタル・インターナショナル株式会社	9	
新興国 株式型	新興 国株 式 100%	エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家私募>	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式 会社	10	
世界債券 プラス型	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・ボ ンド・ファンド-3	アライアンス・バーンスタイン株式会社	11	
オーストラ リア債券 型	オース トラ リア 債券 100%	アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア債券 ファンド (適格機関投資家私募)	アライアンス・バーンスタイン株式会社	12	
金融 市場型	短期 金融 資産 100%	アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プ ール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式 会社	13	

※ 利用する投資信託の運用方針は、参照ページにある運用方針をご覧ください。

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※ 新興国株式型およびオーストラリア債券型は、2015年5月1日に設定されました。

※ 日本株式型および世界株式プラス型は、2018年2月1日に設定されました。

※ 「金融市場型」は株価、債券価格、為替等の変動の影響を受ける可能性が高いことを想定した特別勘定です。

ただし、低金利環境下（マイナス金利を含む）では、「金融市場型」の積立金の増加が期待できないだけでなく、諸費用の控除等により積立金が減少することもありますのでご注意ください。

・「*1～*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2018年4月～2018年6月]

【日本株式市場】

TOPIX（東証株価指数）は上昇し、前期末比+0.85%の1,730.89ポイントで終わりました。今四半期は、米国株式市場でハイテク株が値下がりがりしたことなどを要因に下落して始まり、その後、米国株式市場が上昇したことや、米金利の上昇などを受けて不安定な高で推移したことなどの影響で上昇しました。期の半ばにかけては、米朝首脳会談や南欧の政治に関する動向などにより市場も上下しました。期末にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことなどを背景に下落しました。期を通しては、株価は上昇しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前期末比+0.70%の24,271.41ドルで終わりました。今四半期前半は、米中貿易摩擦に対する懸念が和らいだことなどから上昇しました。期後半に入っても良好な米国経済動向などを背景に上昇しましたが、期末にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことなどを背景に下落しました。期を通しては、株価は上昇しました。

欧州株式市場は、前期末比、独DAX指数+1.73%、英FTSE100指数+8.22%、仏CAC40指数+3.02%となりました。今四半期は、米中貿易摩擦に対する懸念が和らいだことなどを受けて株価は上昇しました。期末にかけては、トランプ政権が通商問題において強硬な姿勢を示し、投資家心理が冷え込んだことなどを背景に下落基調で推移しましたが、期を通しては、株価は上昇しました。

【日本債券市場】

10年国債の金利は低下（価格は上昇）し、期末には0.030%となりました（前期末0.045%）。今四半期は、ほぼ横ばいで始まり、その後、欧米債券市場の金利上昇や日銀の国債買い入れオペ減額などを背景に、日本国債の金利は上昇（価格は下落）する場面もありましたが、期末にかけては、米金利が低下したことを受けて金利は若干低下しました。

【外国債券市場】

米国債券市場では、10年国債の金利は上昇（価格は下落）し、期末には2.860%となりました（前期末2.739%）。期前半は、米中貿易摩擦懸念が和らいだことなどを受けて金利は上昇基調で推移しました。期末にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことなどを背景に金利は低下（価格は上昇）しましたが、期を通しては、金利は上昇しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は低下し、期末には0.302%となりました（前期末0.497%）。今四半期は、前半は米金利の上昇を受けて上昇基調でしたが、5月には南欧の政治不安の高まりなどの影響で金利は低下しました。その後はECB（欧州中央銀行）理事による資産買入れ策終了についての発言などを受けて金利は上昇したものの、期末にかけては、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことなどを背景に低下基調で推移しました。

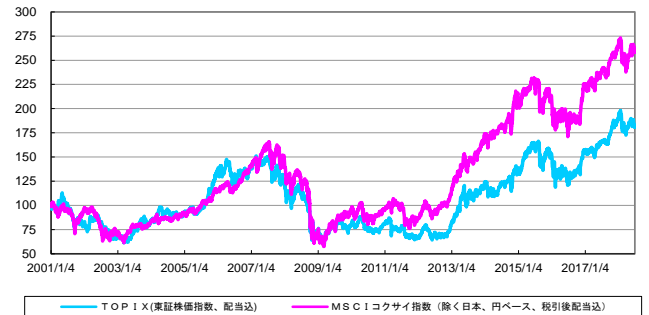
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、円安米ドル高となり、期末には前期末比+4.30円の110.54円となりました。今四半期は、米中貿易摩擦への懸念が和らいだことなどを受けて円安米ドル高基調で始まり、その後5月米雇用統計が予想より堅調だったことや米朝首脳会談の開催を受けて朝鮮半島の非核化が進展するとの期待感などを背景に円安米ドル高基調が継続しました。

ユーロ/円相場は、円高ユーロ安となり、期末には前期末比▲2.61円の127.91円となりました。今四半期は、ECBのドラギ総裁が欧州の景気は堅調であるという見解を示したことなどを背景に、円安ユーロ高基調で始まり、その後、ECBが利上げに関して慎重な姿勢を示したことや、南欧の政治不安が高まりリスク回避のため安全資産とされる円が買われたことなどを要因に、円高ユーロ安基調で推移しました。

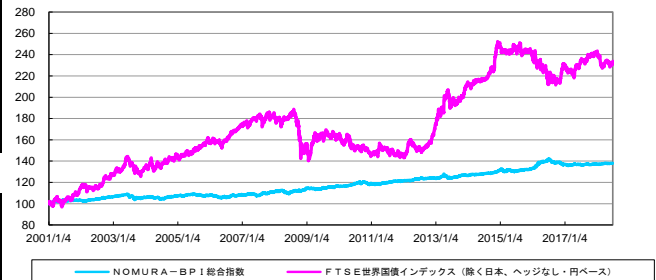
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

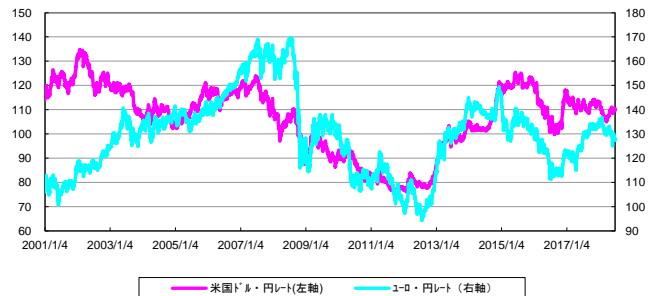


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

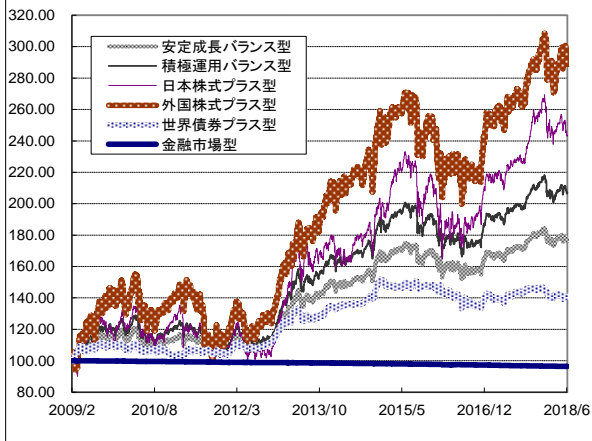
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2018年6月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

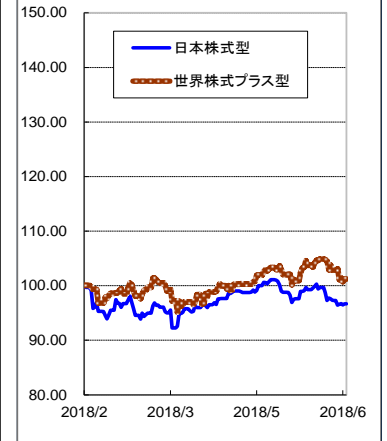
[2009/2/1運用開始]



[2015/5/1運用開始]



[2018/2/1運用開始]



		安定成長 バランス型	積極運用 バランス型	日本株式 型	日本株式 プラス型	外国株式 プラス型	世界株式 プラス型	新興国 株式型	世界債券 プラス型	オーストラ リア債券型	金融市場 型
ユニ ット プ ラ イ ス	2018年6月末	176.87	207.15	96.67	243.50	291.11	101.20	95.78	141.14	92.02	96.37
	2018年5月末	176.61	207.18	97.50	247.38	290.10	101.11	99.89	139.72	93.01	96.42
	2018年4月末	178.36	208.79	99.04	251.57	289.08	100.21	103.08	142.21	92.10	96.45
	2018年3月末	175.56	204.20	95.77	246.06	277.15	96.99	102.31	141.27	92.07	96.49
	2018年2月末	177.23	207.78	96.99	250.03	289.38	100.13	106.44	140.86	93.64	96.55
	2018年1月末	181.08	213.49	100.00	258.33	301.58	100.00	110.91	143.75	97.30	96.59
騰 落 率 （ ％ ）	過去1ヵ月	0.15	▲ 0.01	▲ 0.86	▲ 1.56	0.35	0.09	▲ 4.11	1.02	▲ 1.07	▲ 0.05
	過去3ヵ月	0.75	1.44	0.94	▲ 1.04	5.04	4.34	▲ 6.39	▲ 0.09	▲ 0.06	▲ 0.12
	過去6ヵ月	▲ 2.82	▲ 3.02	-	▲ 5.51	▲ 2.28	-	▲ 10.58	▲ 3.69	▲ 6.28	▲ 0.26
	過去1年	3.08	4.86	-	7.42	9.32	-	2.86	▲ 1.50	▲ 4.15	▲ 0.53
	過去3年	3.18	6.00	-	8.39	12.15	-	0.19	▲ 4.41	▲ 6.77	▲ 1.57
	(年率)	1.05	1.96	-	2.72	3.90	-	0.06	▲ 1.49	▲ 2.31	▲ 0.53
	過去5年	28.77	39.90	-	50.15	68.51	-	-	11.66	-	▲ 2.33
	(年率)	5.19	6.95	-	8.47	11.00	-	-	2.23	-	▲ 0.47
設定来	76.88	107.16	▲ 3.33	143.51	191.11	1.20	▲ 4.21	41.14	▲ 7.98	▲ 3.62	

※ 日本株式型と世界株式プラス型の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2018年2月1日)の前日を100.00とし、新興国株式型とオーストラリア債券型の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2015年5月1日)の前日を100.00として、それ以外の特別勘定は設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 各特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認ください。

■特別勘定資産の内訳

項目	安定成長バランス型			積極運用バランス型		
	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)	金額(千円)	比率(%)	基本資産(%)
現預金・その他	469,531	4.6	-	870,507	4.0	-
その他有価証券	9,753,439	95.4	100.0	20,706,345	96.0	100.0
日本株式	1,915,991	18.7	20.0	5,092,717	23.6	25.0
外国株式	1,955,613	19.1	20.0	7,275,959	33.7	35.0
日本債券	2,920,835	28.6	30.0	4,140,581	19.2	20.0
外国債券	2,960,999	29.0	30.0	4,197,086	19.5	20.0
合計	10,222,971	100.0	100.0	21,576,852	100.0	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

項目	日本株式型		日本株式プラス型		外国株式プラス型	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	5,942	6.4	207,155	4.2	1,062,727	4.1
その他有価証券	86,400	93.6	4,779,174	95.8	24,941,614	95.9
合計	92,343	100.0	4,986,329	100.0	26,004,342	100.0
項目	世界株式プラス型		新興国株式型		世界債券プラス型	
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	97,086	5.0	143,096	4.7	140,089	4.2
その他有価証券	1,858,292	95.0	2,931,445	95.3	3,156,927	95.8
合計	1,955,378	100.0	3,074,542	100.0	3,297,017	100.0
項目	オーストラリア債券型		金融市場型			
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)		
現預金・その他	64,581	4.1	24,640	6.1		
その他有価証券	1,524,613	95.9	381,879	93.9		
合計	1,589,195	100.0	406,520	100.0		

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

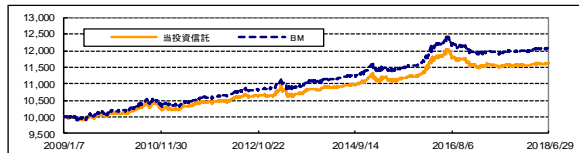
ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>

[2018年6月末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.02%	0.11%	0.41%	0.75%	4.43%	16.18%
BM	0.04%	0.20%	0.57%	1.08%	5.55%	20.71%
差	▲0.03%	▲0.09%	▲0.15%	▲0.33%	▲1.12%	▲4.53%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	第135回利付国債	0.100%	2023年3月20日	2.00%	0.81%
2	第131回利付国債	0.100%	2022年3月20日	1.79%	0.71%
3	第132回利付国債	0.100%	2022年6月20日	1.72%	0.71%
4	第350回利付国債	0.100%	2028年3月20日	1.65%	0.97%
5	第134回利付国債	0.100%	2022年12月20日	1.58%	0.73%
6	第388回利付国債	0.100%	2020年5月15日	1.23%	0.23%
7	第129回利付国債	0.100%	2021年9月20日	1.20%	0.74%
8	第386回利付国債	0.100%	2020年3月15日	1.09%	0.23%
9	第340回利付国債	0.400%	2025年9月20日	0.97%	0.81%
10	第58回利付国債	0.800%	2048年3月20日	0.89%	0.33%
合計				14.12%	6.27%
組入銘柄数				515銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

■当投資信託について

【投資信託名】 日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数²)に連動した投資成果をめざします。
※ 当投資信託は、主として日本債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 債券種別資産構成比率

	マザーファンド	BM	差
国債	81.19%	83.25%	▲2.06%
地方債	5.69%	5.55%	0.14%
政府保証債	3.38%	2.72%	0.66%
金融債	0.68%	0.58%	0.10%
事業債	6.93%	6.12%	0.80%
円建外債	0.62%	0.49%	0.13%
MBS債	1.21%	1.29%	▲0.08%
コール・その他	0.31%	0.00%	0.31%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

※ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

○ ポートフォリオの状況

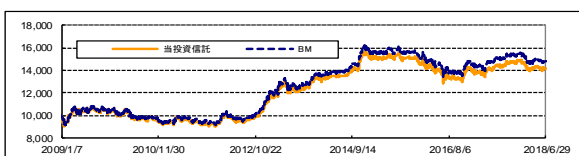
	マザーファンド	BM	差
平均複利回り	0.13%	0.13%	0.00%
平均クーポン	1.08%	0.99%	0.09%
平均残存期間	9.74	9.72	0.01
修正デュレーション	9.11	9.09	0.02

- ※ 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
- ※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

【参考情報】外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>

[2018年6月末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.44%	▲0.04%	▲4.49%	▲1.00%	▲6.33%	42.10%
BM	1.48%	0.07%	▲4.24%	▲0.51%	▲5.01%	48.83%
差	▲0.04%	▲0.12%	▲0.25%	▲0.49%	▲1.32%	▲6.73%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	1.125%	2019年12月31日	0.80%	0.13%
2	アメリカ国債	米ドル	1.375%	2020年1月31日	0.77%	0.13%
3	アメリカ国債	米ドル	1.125%	2020年3月31日	0.76%	0.10%
4	アメリカ国債	米ドル	1.250%	2019年10月31日	0.72%	0.08%
5	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2021年11月30日	0.71%	0.17%
6	アメリカ国債	米ドル	1.250%	2020年2月29日	0.67%	0.11%
7	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2020年9月30日	0.64%	0.12%
8	アメリカ国債	米ドル	1.625%	2020年6月30日	0.63%	0.20%
9	アメリカ国債	米ドル	3.625%	2020年2月15日	0.61%	0.27%
10	アメリカ国債	米ドル	2.375%	2020年12月31日	0.61%	0.14%
合計					6.92%	1.45%
組入銘柄数					488銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

※ ベンチマーク(BM)の比率は2018年6月28日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場時価で円換算したものです。

■当投資信託について

【投資信託名】 外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス³(除く日本、ヘッジなし、円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※ 当投資信託は、主として外国債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 組入上位10カ国

順位	国名	マザーファンド	BM
1	アメリカ	44.28%	44.36%
2	フランス	10.12%	10.15%
3	イタリア	9.15%	9.16%
4	ドイツ	7.14%	7.15%
5	イギリス	6.95%	6.99%
6	スペイン	5.92%	5.95%
7	ベルギー	2.52%	2.53%
8	オランダ	2.19%	2.18%
9	オーストラリア	2.14%	2.12%
10	カナダ	2.09%	2.08%
合計		92.49%	92.66%

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利回り	1.85%	1.84%	0.01%
平均クーポン	3.02%	2.58%	0.44%
平均残存期間	8.60	8.52	0.09
修正デュレーション	7.13	7.10	0.02

- ※ 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
- ※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※ 上記の属性は2018年6月28日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「*1~*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

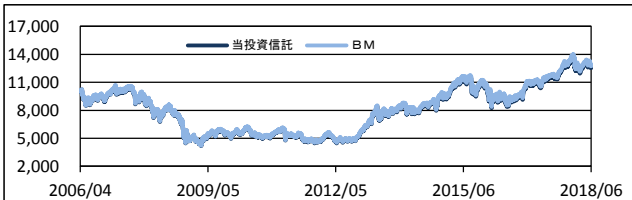
ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 日本株式型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】JDFインデックス・ファンド国内株式F(適格機関投資家専用)

[2018年6月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2006年4月25日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲0.82%	1.07%	▲3.64%	9.65%	12.97%	25.99%
BM	▲0.76%	1.05%	▲3.67%	9.67%	13.15%	28.12%
差	▲0.06%	0.02%	0.03%	▲0.02%	▲0.18%	▲2.13%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2006年4月25日)を起点として計算しています。
 ※ 投資信託の基準価額の推移および騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)⁴⁾です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。
 ・現金等には株式先物を含みます。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産配分比率

	マザーファンド
国内株式および先物等	99.93%
短期金融資産等	0.07%
合計	100.00%

○業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 電気機器	12.93%
2 輸送用機器	8.17%
3 情報・通信業	7.12%
4 化学	7.04%
5 銀行業	6.32%
6 機械	4.89%
7 小売業	4.78%
8 卸売業	4.55%
9 その他の業種	39.07%
10 現金等	5.14%
合計	100.00%

○市場別構成比率

市場	マザーファンド
東京証券取引所第一部	94.86%
現金等	5.14%
—	—
—	—
—	—
合計	100.00%

○組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.34%
2 三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	1.67%
3 ソニー	電気機器	1.45%
4 日本電信電話	情報・通信業	1.36%
5 ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.36%
6 三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.23%
7 キーエンス	電気機器	1.19%
8 本田技研	輸送用機器	1.12%
9 KDDI	情報・通信業	1.01%
10 みずほフィナンシャルG	銀行業	0.96%
合計		14.70%
組入銘柄数		2,078 銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■運用環境

投資信託の騰落率は前四半期末比+1.07%となりました。一方、ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数 配当込)の騰落率は、前四半期末比+1.05%となりました。

4月、米中貿易摩擦問題の先行き不透明感やシリア情勢の懸念などから上値の重い展開となりましたが、米政府によるシリア攻撃が1回のみとの観測から地政学リスクが後退したことなどが好感され株式市場は上昇しました。下旬は、米長期金利が上昇し円安が進んだことなどから続伸しました。
 5月、米長期金利の上昇を背景にドル高円安が進んだことなどから、株価は堅調に推移しました。下旬になると米朝首脳会談の中止が伝わり、リスク回避的な動きが強まる中、南欧の政治リスクが浮上したことや、ドル円が108円台と円高が進行したことなどから、軟調な展開となりました。
 6月、米雇用統計が堅調で米株高、円安傾向となり上昇して始まりました。中旬は、米朝会談や日米欧の金融政策決定会合を経て若干の円安傾向が相場を押し上げる場面もありましたが、その後、米中貿易摩擦の激化懸念や米イランの関係悪化などが重石となりました。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「*1~*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

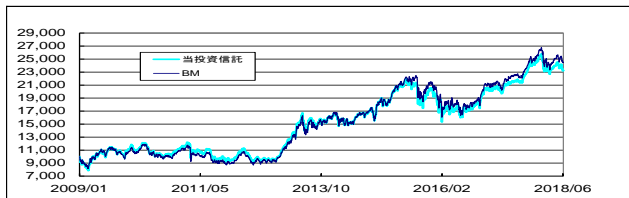
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」「特別勘定 日本株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2 [2018年6月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲1.58%	▲0.97%	▲5.49%	8.42%	10.03%	132.61%
BM	▲0.76%	1.05%	▲3.67%	9.67%	13.15%	145.19%
差	▲0.83%	▲2.02%	▲1.83%	▲1.25%	▲3.12%	▲12.58%

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2
【委託会社】 アライアンス・バーンスタイン株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリューストック(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従い「バランス」を行います。
※ 当投資信託は、主として、バーンスタイン・日本ストラテジック・バリューストック・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券 に投資します。

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、TOPIX(東証株価指数 配当込)⁴です。
- ・ 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の詳細情報

○ 資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリューストックMファンド*	50.00%	49.80%
グロース株Mファンド**	50.00%	50.46%
短期金融資産等	0.00%	-0.26%
合計	100.00%	100.00%

- * バリューストックMファンド: バーンスタイン・日本ストラテジック・バリューストック・マザーファンド受益証券
- ** グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

○ 業種別構成比率

業種	投資信託
1 電気機器	15.71%
2 情報・通信業	11.12%
3 銀行業	7.96%
4 輸送用機器	6.62%
5 食料品	5.41%
6 小売業	4.90%
7 機械	4.41%
8 卸売業	4.36%
9 その他の業種	37.54%
10 現金等	1.97%
合計	100.00%

○ 市場別構成比率

市場	投資信託
東京証券取引所第一部	98.03%
現金等	1.97%
—	—
—	—
—	—
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	業種	投資信託
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.55%
2 日本電信電話	情報・通信業	4.22%
3 日本たばこ産業	食料品	3.12%
4 パナソニック	電気機器	2.85%
5 JXTGホールディングス	石油・石炭製品	2.39%
6 リクルートホールディングス	サービス業	2.25%
7 キーエンス	電気機器	2.22%
8 本田技研工業	輸送用機器	2.18%
9 三菱商事	卸売業	2.14%
10 KDDI	情報・通信業	2.13%
合計		28.07%
組入銘柄数		94銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比▲0.97%となりました。一方、ベンチマークであるTOPIX(東証株価指数 配当込)の騰落率は、前四半期末比+1.05%となりました。(以下、バリューストックMファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。)
ベンチマークとの比較では、バリューストックMファンドは、セクター配分、銘柄選択ともにマイナス要因となり、テクノロジー・セクターや消費財・シクリカル・セクターでの銘柄選択が主なマイナス要因となりました。グロース株Mファンドは、セクター配分はプラス要因、銘柄選択はマイナス要因となり、生活必需品セクターのオーバーウェイトなどはプラス要因となったものの、一般消費財・サービス・セクターでの銘柄選択は主なマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分をおおむね維持しました。
引き続き投資スタイルの分散を行い、バリューストックMファンドについては、企業のファンダメンタルズ分析に基づく個別銘柄選択を付加価値の源泉とした割安銘柄のボトムアップ投資、グロース株Mファンドについては、綿密な個別企業の調査に基づいて、業績および潜在成長力が市場で過小評価されていると考える成長銘柄を中心に投資し、信託財産の長期的な成長を図ることをめざします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・「*1~*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター
Tel 0120-936-133

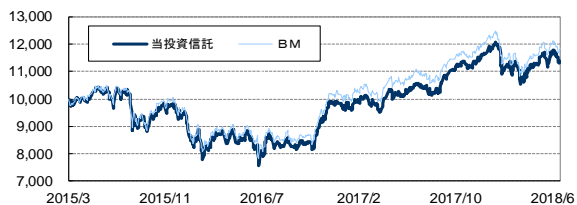
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」「特別勘定 外国株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募> [2018年6月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2015年3月23日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ IM・グローバル(日本除く)株式ファンド <適格機関投資家私募>
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンドの受益証券への投資を通じて日本を除く世界各国の金融商品取引所上場株式への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
※ 当投資信託は、主としてアクサ IM・グローバル(日本除く)株式マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.47%	5.42%	▲2.20%	10.50%	13.95%	13.88%
BM	1.93%	6.55%	▲1.19%	10.32%	17.99%	18.44%
差	▲1.46%	▲1.12%	▲1.01%	0.18%	▲4.05%	▲4.56%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年3月23日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※ 投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIコクサイ指数¹⁵(配当込み/グロス/日本円換算)です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国別構成比率

順位	国名	マザーファンド
1	アメリカ	62.62%
2	ドイツ	5.64%
3	イギリス	5.63%
4	カナダ	3.78%
5	スイス	3.51%
6	オランダ	3.23%
7	オーストラリア	2.94%
8	フランス	2.76%
9	その他の国	8.78%
10	現金等	1.11%
合計		100.00%

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

○ セクター別構成比率

順位	セクター	マザーファンド
1	ソフトウェア・サービス	15.35%
2	銀行	7.60%
3	医薬品・バイオテクノロジー	6.59%
4	資本財	6.55%
5	エネルギー	6.27%
6	小売	6.08%
7	保険	5.13%
8	素材	4.89%
9	その他業種	40.42%
10	現金等	1.11%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	2.32%
2	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.27%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.65%
4	FACEBOOK INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.52%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.51%
6	JPMORGAN CHASE & CO.	アメリカ	銀行	1.46%
7	MASTERCARD INCORPORATED	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.02%
8	VERIZON COMMUNICATIONS INC.	アメリカ	電気通信サービス	0.90%
9	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	0.90%
10	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー	0.89%
合計				14.43%
組入銘柄数				471銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+5.42%となりました。一方、ベンチマークであるMSCIコクサイ指数(配当込み/グロス/日本円換算)の騰落率は前四半期末比+6.55%となりました。当四半期のグローバル(日本除く)株式市場は、市場全体に対しそれまで先行して上昇していた銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で少なめに保有していた銀行や飲料・タバコが下落したことはプラスに寄与しました。地域別では上昇した北米地域の銘柄を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたソフトウェア・サービスのTWITTER INC.(アメリカ)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していたソフトウェア・サービスのSYMANTEC CORP(アメリカ)や運輸のDEUTSCHE POST AG(ドイツ)が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、日本を除く世界各国の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「*1~*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

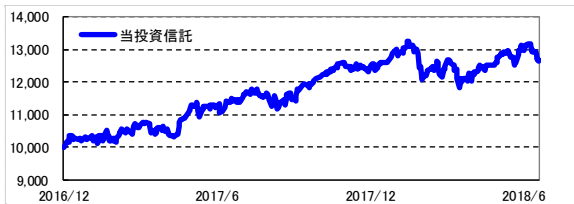
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 世界株式プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用) [2018年6月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2016年12月9日)を10,000として指数化しています。

■ 利用する投資信託について

【投資信託名】 キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用)
【委託会社】 キャピタル・インターナショナル株式会社
【運用方針】

キャピタル世界株式マザーファンド受益証券への投資を通じ、実質的に世界各国の株式等へ分散投資をする事で信託財産の中長期的な成長を目指す運用を行います。
※ 当マザーファンドは、主としてルクセンブルク籍内建外国投資信託証券「キャピタル・グループ・ニューパースペクティブ・ファンド(LUX)(クラスC)」に投資を行いません。

■ 当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.35%	4.92%	0.74%	10.65%	-	26.97%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2016年12月9日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 当投資信託は、ベンチマークを設定していません。

以下は「キャピタル世界株式マザーファンド」の主要投資対象であるルクセンブルク籍内建外国投資信託証券「キャピタル・グループ・ニューパースペクティブ・ファンド(LUX)(クラスC)」の資産状況です。

■ ルクセンブルク籍内建外国投資信託証券の詳細情報

○ 国別構成比率

順位	国名	ファンド
1	米国	53.32%
2	フランス	6.19%
3	日本	5.33%
4	英国	4.47%
5	オランダ	3.34%
6	台湾	2.43%
7	スイス	1.98%
8	南アフリカ	1.96%
9	その他の国	15.23%
10	現金等	5.75%
合計		100.00%

○ セクター別構成比率

順位	セクター	ファンド
1	情報技術	26.45%
2	一般消費財・サービス	19.87%
3	金融	10.46%
4	ヘルスケア	8.46%
5	生活必需品	8.32%
6	資本財・サービス	7.81%
7	素材	5.93%
8	エネルギー	4.25%
9	その他業種	2.70%
10	現金等	5.75%
合計		100.00%

※ セクターについてはMSCI分類に基づいていますが、委託会社の判断に基づき分類したものが含まれる場合があります。

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	ファンド
1	AMAZON	米国	一般消費財・サービス	4.64%
2	FACEBOOK	米国	情報技術	3.01%
3	ALPHABET	米国	情報技術	2.14%
4	MICROSOFT	米国	情報技術	2.05%
5	ASML	オランダ	情報技術	1.97%
6	TSMC	台湾	情報技術	1.88%
7	JPMORGAN CHASE	米国	金融	1.71%
8	NASPERS	南アフリカ	一般消費財・サービス	1.67%
9	NETFLIX	米国	一般消費財・サービス	1.63%
10	CME GROUP	米国	金融	1.42%
合計				22.14%
組入銘柄数*				261銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

* 組入銘柄数は、組み入れ開始後間もない銘柄を含まない場合があります。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

キャピタル世界株式マザーファンドが主要投資対象とするキャピタル・グループ・ニューパースペクティブ・ファンドのリターンをセクター別に見ると、一般消費財・サービスや情報技術が主なプラス要因となりました。その結果、当キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用)における当四半期の騰落率は前四半期末比+4.92%となりました。

グローバル経済は、引き続き見通しが良好です。米国経済は、失業率の低下と賃金上昇を背景に消費主導の回復が持続しており、欧州や日本でも、一部にやや弱い景気指標は見られるものの基調としては回復傾向にあります。また、エマージング諸国経済は、国・地域によりばらつきはあるものの、全体としては先進国を上回る成長が持続する見通しです。昨年成立した米国の減税・雇用法は、さらなる景気の押し上げ要因として期待されます。これらは、企業業績の拡大を通じてグローバル株式市場を支える要因になるとみられます。一方、米国株式市場のさらなるバリュエーション(株価評価)調整、米国の利上げや通商政策をめぐる不透明感、南欧諸国の政情不安などは、グローバル株式市場のボラティリティをさらに高める要因となることも想定されます。このような投資環境において、強固な財務体質を持つ企業や、革新的な技術力で高い収益成長が期待できる企業など、中長期的視点で魅力的な株式に投資することを目指します。当面は、一般消費財・サービス、情報技術セクターで成長要因を有する企業等に注目します。今後の運用においても、引き続き世界各国の経済および市場動向を注視しながら、長期的な視点に立った企業調査に基づく個別銘柄選択を継続していく方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

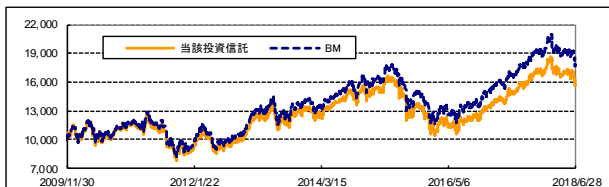
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 新興国株式型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】 エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定> [2018年6月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年11月30日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 エマージング株式インデックス・ファンド <適格機関投資家限定>
【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、中長期的に新興国の株式市場(MSCIエマージング・マーケット・インデックス[®](円ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。

※ 当投資信託は、主としてエマージング株式インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
BM	▲3.89%	▲6.11%	▲10.12%	4.77%	6.65%	77.83%
差	▲0.18%	▲0.26%	▲0.46%	▲0.74%	▲4.91%	▲20.60%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年11月30日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCIエマージング・マーケット・インデックス[®](円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産配分比率

	マザーファンド
外国株式	95.75%
株式先物	4.25%
短期金融資産等	0.00%
合計	100.00%

○国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 中国	31.21%
2 韓国	14.06%
3 台湾	11.12%
4 インド	8.31%
5 南アフリカ	6.14%
6 ブラジル	5.57%
7 株式先物	4.25%
8 ロシア	3.34%
9 その他の国/地域	15.99%
10 現金等	0.00%
合計	100.00%

○セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 情報技術	26.73%
2 金融	21.83%
3 一般消費財・サービス	9.20%
4 素材	7.42%
5 エネルギー	6.81%
6 生活必需品	6.38%
7 資本財・サービス	4.98%
8 株式先物	4.25%
9 その他のセクター	12.40%
10 現金等	0.00%
合計	100.00%

○組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	業態	マザーファンド
1 TENCENT HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	5.08%
2 ALIBABA GROUP HOLDINGS LTD	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	4.01%
3 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.73%
4 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	台湾	情報技術	半導体・半導体製造装置	3.13%
5 NASPERS LTD	南アフリカ	一般消費財・サービス	メディア	1.91%
6 CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	中国	金融	銀行	1.57%
7 BAIDU, INC.	中国	情報技術	ソフトウェア・サービス	1.21%
8 CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	電気通信サービス	0.94%
9 INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	中国	金融	銀行	0.93%
10 PING AN INSURANCE (GROUP) COMPANY OF CHINA LTD	中国	金融	保険	0.87%
合計				23.37%
組入銘柄数				752銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■運用環境

当四半期の新興国株式市場は、米中貿易摩擦への懸念に加え米長期金利上昇や新興国通貨安が嫌気され下落しました。4月は、シリアを巡る中東の地政学的リスクや米長期金利上昇を背景とした新興国市場からの資金流出への警戒感が重石となった一方、米中貿易摩擦への懸念後退や堅調な中国経済統計に加え原油高などが好材料視され一進一退の展開となりました。5月は、前半は米中貿易協議の進展や原油価格上昇が好感され上昇基調となりました。後半に入ると米長期金利上昇に加え、北朝鮮情勢やイタリア政局の不透明感などを背景に下落しました。燃料価格高騰に抗議するトラック運転手らによるストライキなどが嫌気されたブラジル市場で大幅下落となりました。6月は、米中貿易摩擦激化への懸念や米利上げへの警戒感に加え予想を下回る中国経済統計を受けて、中国景気減速が意識されたことなどを背景に中国をはじめアジア市場中心に下落しました。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「*1~*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

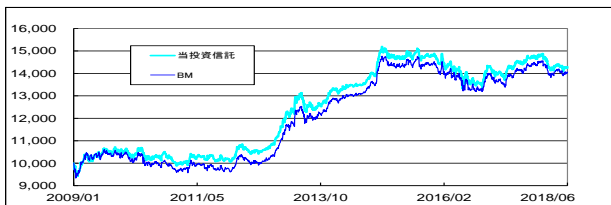
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 世界債券プラス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3 [2018年6月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)を10,000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3
【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
実質組入外貨資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
※ 当投資信託は、主としてアライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
BM	1.07%	▲0.12%	▲3.24%	▲0.72%	▲2.52%	40.47%
差	0.06%	0.17%	▲0.34%	▲0.23%	▲0.69%	2.49%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(円ベース)⁷⁾です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 アメリカ	40.46%
2 日本	14.34%
3 フランス	7.50%
4 イタリア	5.88%
5 カナダ	5.68%
6 スペイン	4.15%
7 イギリス	4.01%
8 ドイツ	2.52%
9 その他の国/地域	11.91%
10 現金等	3.56%
合計	100.00%

○ 格付別構成比率

格付	マザーファンド
AAA	42.82%
AA	15.63%
A	26.62%
BBB	11.37%
BB以下	0.00%
現金等	3.56%
合計	100.00%

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のうち、いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

債券種別	マザーファンド
1 国債・政府機関債等	77.92%
2 社債	18.52%
3 現金等	3.56%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 米国国債	アメリカ	1.125%	2019年12月31日	Aaa	AA+	4.95%
2 フランス国債	フランス	1.000%	2027年05月25日	Aa2	AA	4.03%
3 米国国債	アメリカ	2.500%	2046年02月15日	Aaa	AA+	3.73%
4 日本国債	日本	0.100%	2026年03月10日	A1	A+	3.32%
5 米国国債	アメリカ	2.000%	2026年11月15日	Aaa	AA+	3.21%
6 米国国債	アメリカ	1.625%	2026年05月15日	Aaa	AA+	3.20%
7 米国国債	アメリカ	1.125%	2021年07月31日	Aaa	AA+	2.68%
8 米国国債	アメリカ	2.250%	2027年08月15日	Aaa	AA+	2.43%
9 フランス国債	フランス	2.250%	2022年10月25日	Aa2	AA	2.29%
10 米国国債	アメリカ	2.250%	2027年02月15日	Aaa	AA+	2.15%
合計						31.98%
組入銘柄数						168銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利回り	1.79%
平均クーポン	1.84%
平均残存期間	7.93
実効デュレーション	6.78

※ 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

※ 「実効デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の感応度を示します。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+0.06%、一方、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス(円ベース)の騰落率は前四半期末比▲0.12%となりました。
ベンチマークとの比較では、マザーファンドにおいてユーロ圏を低めとした国別配分やユーロ圏での投資適格社債を高めとしたセクター配分が主なプラス要因となった一方、米ドルを低めとした通貨配分が主なマイナス要因となりました。マザーファンドのポートフォリオでは、国債については米国国債やカタール国債などを買増した一方、カナダ国債やマレーシア国債を一部売却し、ロシア国債はすべて売却しました。ユーロ圏の国債については、フランス国債やイタリア国債などを買増した一方、ドイツ国債やベルギー国債を一部売却し、オーストリア国債はすべて売却しました。社債については、自動車セクターや資本財セクターを新たに組み入れ、その他製造セクターや運輸セクターなどを買増した一方、通信セクターやエネルギーセクターなどを一部売却しました。
委託会社は、世界経済は、米国を中心に長期金利が上昇する中でも、拡張的な財政政策の支えにより先進国を中心に高成長が続くと予想しています。国債については、日本について、相対的な魅力度の観点から組入れを低めとするほか、ユーロ圏主要国やイギリスについても、組入れを低めとする方針です。投資適格社債については、企業ファンダメンタルズは全般には良好であるものの、セクターにより差異が生じているため、投資機会を見極めて組み入れる方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「*1~*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

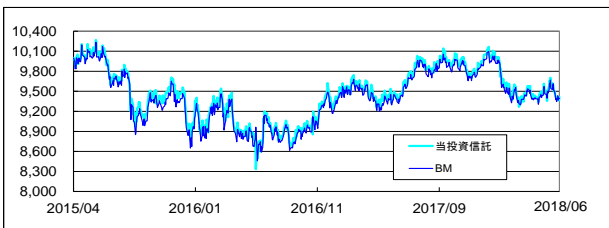
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 オーストラリア債券型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アライアンス・パースタイン・オーストラリア債券ファンド（適格機関投資家専用） [2018年6月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2015年4月10日)を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	▲1.05%	0.12%	▲6.30%	▲3.70%	▲5.32%	▲5.87%
BM	▲1.16%	0.15%	▲5.77%	▲3.07%	▲5.21%	▲6.06%
差	0.11%	▲0.03%	▲0.53%	▲0.64%	▲0.11%	0.19%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2015年4月10日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス[®](円換算)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国/地域別構成比率

国名	マザーファンド
1 オーストラリア	83.81%
2 国際機関	3.69%
3 アメリカ	2.44%
4 ドイツ	1.64%
5 ノルウェー	1.31%
6 中国	1.22%
7 韓国	0.82%
8 その他の国/地域	0.82%
9 債券先物	0.00%
10 現金等	4.26%
合計	100.00%

○ 格付別構成比率

格付	マザーファンド
AAA	80.19%
AA	11.07%
A	3.67%
BBB	0.81%
BB以下	0.00%
債券先物	0.00%
現金等	4.26%
合計	100.00%

格付基準:

※ ムーディーズ社またはスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)社のうち、

いずれか高いほうを採用しています。

○ 債券種別資産構成比率

債券種別	マザーファンド
1 国債・政府機関債等	80.19%
2 社債	15.55%
3 債券先物	0.00%
4 現金等	4.26%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 オーストラリア国債	オーストラリア	4.250%	2026年4月21日	Aaa	AAA	7.73%
2 オーストラリア国債	オーストラリア	5.500%	2023年4月21日	Aaa	AAA	7.44%
3 オーストラリア国債	オーストラリア	2.250%	2028年5月21日	Aaa	AAA	6.91%
4 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2022年7月15日	Aaa	AAA	6.46%
5 オーストラリア国債	オーストラリア	5.750%	2021年5月15日	Aaa	AAA	5.81%
6 オーストラリア国債	オーストラリア	1.750%	2020年11月21日	Aaa	AAA	5.24%
7 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2029年4月21日	Aaa	AAA	5.15%
8 オーストラリア国債	オーストラリア	3.250%	2025年4月21日	Aaa	AAA	5.11%
9 オーストラリア国債	オーストラリア	4.500%	2033年4月21日	Aaa	AAA	4.65%
10 オーストラリア国債	オーストラリア	5.250%	2019年3月15日	Aaa	AAA	4.15%
合計						58.67%
組入銘柄数						37銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比では+0.12%、一方、ベンチマークであるブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス(円換算)の騰落率は前四半期末比では+0.15%となりました。

ベンチマークとの比較では、オーストラリア国債の残存期間戦略が主なマイナス要因となった一方、インフレ連動債や投資適格社債を高め組み入れたセクター配分はプラス要因となりました。マザーファンドのポートフォリオでは、オーストラリア国債を中心に投資を行うとともに、相対的な魅力度が高いと判断したオーストラリアドル建ての社債への投資も行いました。

委託会社は、世界経済は、米国を中心に長期金利が上昇する中でも、拡張的な財政政策の支えにより先進国を中心に高成長が続くと予想しています。オーストラリア経済は、インフレ率はやや上昇する兆しがみられるものの、これまでの金融緩和効果などで成長率は高まると予想しています。オーストラリア中央銀行は、追加金融緩和についてはほぼ中立の姿勢を示しており、引き続き雇用情勢や、住宅市場等、経済動向を注視しながら2019年から利上げに転じると予想しています。今後も引き続き、オーストラリアドル建ての国債、政府機関債、社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・「*1~*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

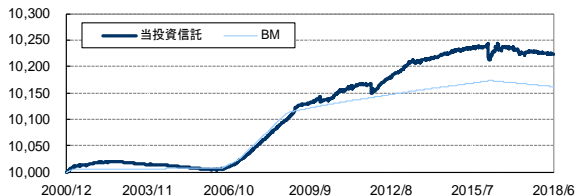
アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の四半期運用レポート（2018年4月～2018年6月）

- ・「特別勘定 金融市場型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】アクサ ローゼンバーク・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募) [2018年6月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.01%	0.00%	▲0.02%	▲0.04%	▲0.11%	2.24%
BM	▲0.01%	▲0.02%	▲0.03%	▲0.05%	▲0.07%	1.62%
差	▲0.00%	0.02%	0.01%	0.01%	▲0.04%	0.62%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁹⁾により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	0.67年	79.37%
国債	0.00年	0.00%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	0.52年	19.88%
金融債	0.88年	11.88%
社債等	0.69年	47.61%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.00年	20.63%
CD		0.00%
CP		0.00%
T-Bill		0.00%
コールローン		0.00%
その他		20.63%
合計	0.54年	100.00%

○公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	5.00%
A	95.00%
BBB	0.00%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:※ 海外格付機関の格付を優先します。

※ コールローンは格付別構成比率には含めていません。

(公社債の格付別構成比率と短期資産等の格付別構成比率の合計が100%になります。)

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付を採用します。

※ T-Bill等国債同等の無格付短期資産においては短期格付をP-1格とします。

※ T-Billに分類された1年未満の国債については「○公社債の格付別構成比率」に含めています。

※ 「T-Bill」には、残存期間が1年未満の国債を含みます。

※ 「修正デュレーション」は、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○短期資産等の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
P-1	0.00%
P-2	0.00%
P-3	0.00%
無格付	0.00%
合計	0.00%

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比0.00%、一方、ベンチマークである日本円無担保コールオーバーナイト物レートは前四半期末比▲0.02%となりました。景気とインフレ率は緩やかな拡大基調を継続しており、日銀のイールドカーブ・コントロール政策が奏功し、当四半期末の2年国債利回りは前四半期末比で上昇しました。

委託会社は、国内債券市場が日銀の金融緩和政策によって引き続き低金利で推移するとみています。今後の運用方針として、年限の短い国債や政府保証債への投資で流動性を確保しつつ、クレジットリスクの低い社債へ投資して、安定した運用と利回りの向上をめざす方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・「*1~*9」の用語説明は、13ページに記載しています。

用語説明

- 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- 「NOMURA-BPI総合指数」とは、日本国内で発行される公募固定利付債の流通市場動向を的確に表すために、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数です。NOMURA-BPI総合指数は野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当特別勘定の運用成果等に関し、一切責任はありません。
- 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income L.L.C.により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income L.L.C.は、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income L.L.C.に帰属します。
- 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の時価総額を指数化した、配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- 「MSCIコクサイ指数」とは、MSCI Inc.が日本を除く世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の株式の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ベース)」に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「FTSE世界国債インデックス(円ベース)」は、FTSE Fixed Income L.L.C.により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income L.L.C.は、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income L.L.C.に帰属します。
- 「ブルームバーグ・オーストラリア国債インデックス」は、ブルームバーグが算出・公表する指数で、オーストラリアの債券市場の値動きを表す代表的な指数です。当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はブルームバーグ・エル・ピーに帰属します。
- 「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について、コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）のリスクおよび諸費用について①

【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの保険です。特別勘定資産の運用には、資産配分リスク、株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、カントリー・リスク、流動性リスク、為替リスク、派生商品取引のリスクなどがあります。これらのリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。（払いもどし金額および満期保険金額に最低保証はありません。）特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

＜保険料払込時および保険期間中にかかる費用＞（以下の各費用の合計額をご負担いただきます。）

●保険関係費

保険関係費とは、お払込みいただいた保険料もしくは積立金から控除される諸費用です。保険関係費の細目は下表のとおりです。

保険関係費の細目	取扱内容
(1) 保険契約の締結・維持および保険料の収納に必要な費用	特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。
(2) 特別勘定の管理に必要な費用	*契約日が2017年4月1日以前のご契約者様積立金額に対して年率0.50%(0.50%/365日)を乗じた金額を、毎日、積立金から控除します。 また、積立金額に対して年率0.25%(0.25%/12ヵ月)を乗じた金額を、月単位の契約応当日始に積立金から控除します。
(3) 基本保険金額保証に関する費用	
(4) 死亡保障などに必要な費用(危険保険料)	月単位の契約応当日始に積立金から控除します。
(5) 保険料払込免除に関する費用	保険料に対して0.1%~0.2%(保険料払込期間に応じます。)を乗じた金額を、特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。

- ※ 保険関係費(上表(1)~(5))の総額は、被保険者の年齢、性別などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。
 ※ 契約条件に関する特約(08)を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます(特別勘定への繰入の際に保険料から控除します。)。特別保険料は特別勘定では運用いたしません。特別保険料は契約条件・特別条件承諾書でご確認ください。

●運用関係費

項目	費用(投資信託の純資産に対して)	ご負担いただく時期
運用関係費	安定成長バランス型 : 年率 0.50868%程度 *1	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。
	積極運用バランス型 : 年率 0.55944%程度 *1	
	日本株式型 : 年率 0.12960%程度	
	日本株式プラス型 : 年率 0.88560%程度	
	外国株式プラス型 : 年率 0.54000%程度	
	世界株式プラス型 : 年率 0.78840%程度 実質年率 0.7954%程度 *2	
	新興国株式型 : 年率 0.54000%程度	
	世界債券プラス型 : 年率 0.56160%程度	
	オーストラリア債券型 : 年率 0.33480%程度	
	金融市場型 : 年率 0.03510%~0.49680%程度 *3	

- ※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の消費税等を含む総額の信託報酬率を記載しています。信託報酬のほか、信託事務の諸費用など、有価証券の売買委託手数料および消費税などの税金などの諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。
- ※ 運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。
- *1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。
- *2 「世界株式プラス型」で利用する投資信託は、他の投資信託証券を実質的な投資対象としており、投資対象における所定の信託報酬を含めてご契約者が実質的に負担する運用関係費の概算を表示しておりますが、投資対象の実質組入比率は運用状況に応じて変動するため、ご契約者が実質的に負担する実際の運用関係費の率および上限額は事前に表示することができません。
- *3 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）のリスクおよび諸費用について②

<解約・減額時にかかる費用>

●解約控除

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日または減額日における保険料払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数により計算した額	解約日または減額日の積立金額から控除します。

※ 解約控除額は保険料払込年月数、契約年齢、保険期間などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

※ 保険料払込年月数が10年未満の場合、基本保険金額の減額やユニット・リンク払済保険への変更などにも解約控除がかかります。

※ 早期に解約された場合は解約控除額が大きくなり、払いもどし金がまったくない場合もあります。

<積立金の移転に関わる費用>

項目	時期	費用	備考
積立金 移転費用	積立金の 移転時	【書面による移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき2,300円 【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、2回目からは1回につき800円	1カ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、2回目からの移転について積立金から控除します。

※ 積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

<年金払特約(O6)、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用>

項目	費用	ご負担いただく時期
年金 管理費	年金のお支払いや管理などに必要な費用 年金額に対して 1.0% *	年単位の契約応当日に責任準備金から控除します。

* 記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <https://www.axa.co.jp/>